

時曰云石は、我々自身の發展過程を失つた。然同盟並よ其他の諸国体、資本主義の諸條件に照應し、無意識的にもろく組合運動力統一へと進程をたどりつぶることさ、我々は信ひて、我々は組合運動力統一を組織するに至めたのである。

一、日本勞働組合會議への参加

二、農業労働党への参加

三、勞働農民局への参加、並全国組合會議への出席

左三項に付する我等の努力は、我等の意圖たる農吾子^{ナガコノシテ}、然し左翼の公農的利己政策^{リヒジイセキサツ}、右左二項の階級的立場^{セイジセイリョウ}と以て反配財政の懷柔策^{ハイウジツ}に迎合^{イコウ}するも、組合運営右翼農^{ヨウエイノウ}部は陰名其他の隣庄子^{ヨウザウ}を以て、我等の努力を廻上^{ハシメテ}し、至り、然同盟^{リアン}の全體的統一^{トウイチ}の發展性全く失はれた。硬正士^{ヨウジシ}の説明が形骸^{ヨウガイ}を取^{スル}者^{モノ}は更生^{スル}に失^スれ、現下の無産階級運動は勞働組合の底^{スル}で不^可能^ス（「三」上）、一切^{スル}、一方左翼の表現^{ヨウエイノヒン}には、我が組合同盟に課せられたる歴天の任務^{ヨウジン}であり、この任務は又誤れ^{スル}在左翼^{ヨウエイ}の小兒麻^{ヨウエイノコノマ}の左翼に対する闘爭^{ヨウジン}と通じてのみ實現^{スル}得^ス。今既^スの不^可能^ス（「三」上）日本勞農黨の結成^{スル}直接^{スル}、我が組合同盟は始生^{スル}也。左右兩翼の後援^{ヨウエイノホウイ}地主^{ヨウジ}はつゝ、大^きな青農大農^{ヨウノウ}は、憤然^{スル}、二^方主^{スル}聲^{スル}は海深^{シタマツ}の如^ク也。かくて日本勞農^{ヨウノウ}聯合^{スル}は打^ス中間的^{ヨウジヤク}的^{スル}形態^{スル}ではなし、左右兩翼^{ヨウエイ}地主^{ヨウジ}の指導精神^{ヨウジシン}を否定^{スル}生れ^{スル}も、才^ハの意識的^{シキセキ}的^{スル}闘爭^{ヨウジン}である。

組合同盟の出現と日本勞農統聯合の結成の全過程は、更に又其の後に於ける、実際的闘争の結果は、然^ニが正^ニがつた事を立証^{スル}に^{シテ}ゐる。船岡炭礦事變^{ヨウカクジ}其の他に於ける左翼の行動を見よ、更に又評議會の内部的動搖^{ヨウヘイノドウヨウ}更に左翼の別動体たる統一運動同盟の非行を見よ。一、彼等は之が左翼的熱情^{ヨウエイノセキヨウ}に拘^はらず、客觀的^{セキクテツ}に無產階級の陣營^{ジンエイ}を攪乱^{スル}、大衆的指導精神^{ヨウジシン}を失^スせしものだら^シこと^{シテ}が明白^{スル}である。他方又組合幹部の陰謀的^{ヨウモテツ}組合破壊策^{ハコイサツ}を見よ、月^カや^カ方面^カたゞ^シ一^行は水^ツある資本家^{ヨウボンカ}との結託^{クシツ}を見よ、彼等は常に反動的^{ハントウテツ}的^{スル}思想^{シラフ}と有りつゝある、而し兩者の存在^{スル}は、今後^{スル}因縁^{スル}こと^{シテ}あらう。

一つは革命^{スル}に対する小アル千早ア^{スル}的^{スル}幻^ヲ想^スに立脚^スし、他は帝國主義的^{ヨウコクシミ}ブルジョア^ス分裂欺瞞策^{ハコイサツ}に合致^{スル}。日本勞農統聯合の現下の任務は、如^ク右兩分派に対する徹底的^{セキスイテツ}的^{スル}闘争^{ヨウジン}と並行^{スル}同時に、区々に分散せる勞働組合の團結力^ス、庶^シ別並に地域的に拡充せしめ、之の兼半的^{ヨウハンテツ}統一組織^{トウイチ}に發展^{スル}事^ニニ^{シテ}ある。かく之が秋^ノ國勞働階級並に農民^ノ資本主義の桎梏^{ヨウコク}より解放^{スル}事^ニニ^{シテ}ある。

我が組合同盟は、日本勞農統聯合の構成要素^{スル}として、既に決定^{スル}方針^{スル}實現^{スル}に飽くまで努力せ^{スル}べしとする。かかる結果並に評議會が過ぎに於て紀したる失敗、即ち自己中心主義に陥^スることなく、我國勞働運動の現状に対する明確^{スル}認識に基づ^ス、日本勞農統聯合の確立充実^{スル}に努力せ^{スル}とするものである。